

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

比例縮尺財務諸表描画プログラムの無償公開

—— 金融庁 EDINET から得られる XBRL ファイルの活用 ——

国立大学法人横浜国立大学（以下、横浜国立大学）の高須悠介准教授（国際社会科学研究院）は、金融庁のEDINETから収集したデータを解析し、比例縮尺財務諸表（比例縮尺貸借対照表および比例縮尺損益計算書）を描画するプログラムを開発し無償公開します。

比例縮尺財務諸表は多くのビジネススクール等で活用される分析手法であり、企業を分析する上で重要性が高いと考えられる金額の大きな数値ほど強調して表現されるため、企業の実態を推察することを可能とします。このプログラムの無償公開により研究者、経済学・経営学を学ぶ学生、財務分析の専門家が容易に比例縮尺財務諸表を作成でき活用できるようになります。

【研究の背景・目的】

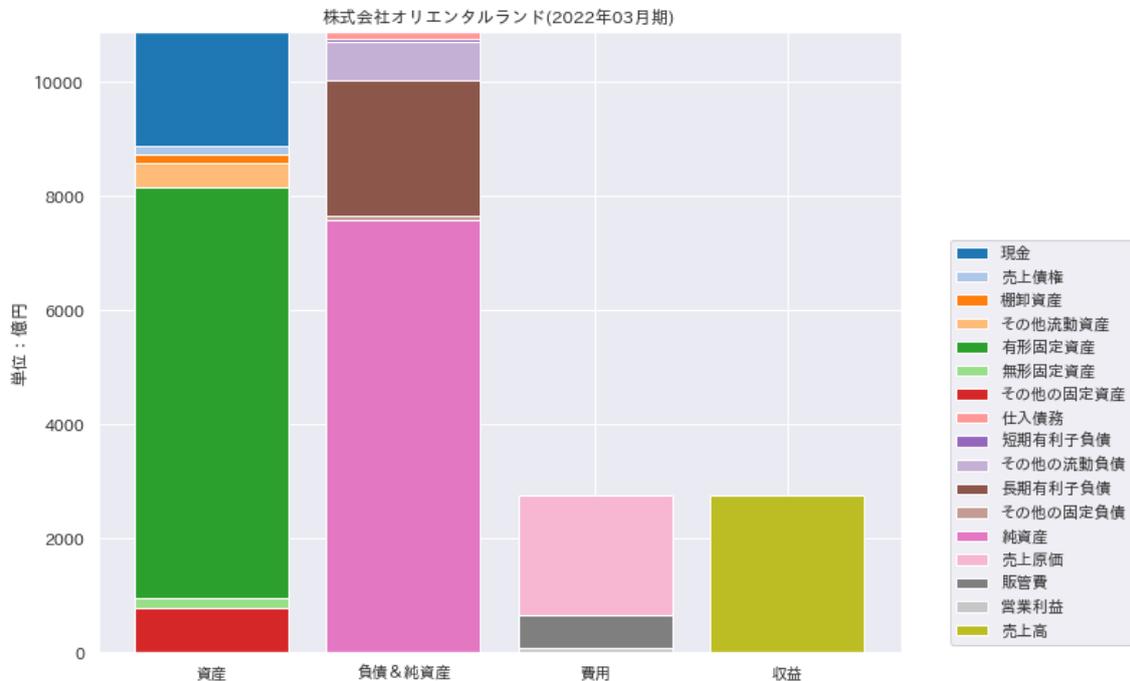
比例縮尺財務諸表は、企業分析を行う上で重要性が高いと考えられる金額の大きな数値ほど強調して表現されるため、企業の実態を推察することを可能とする有名な分析手法です。しかし企業の財務諸表から比例縮尺財務諸表を作成するにはいくつかのステップがあり、有価証券報告書の貸借対照表と損益計算書から必要な情報内容をエクセルにまとめ、集約し、そこから作図する作業にはある程度の手間がかかります。分析対象が1社であればこの手間も一度で済むものの、2社、3社と増やすことで各社の財務諸表の構成が異なることもあり、分析の前段階で多くの労力が必要です。今回開発した比例縮尺財務諸表描画プログラムを利用することで前段階の労力を大幅に削減できることが可能になります。

【プログラムの概要】

金融庁の EDINET から収集した XBRL ファイルを Google Colaboratory 上にて解析し、比例縮尺財務諸表（比例縮尺貸借対照表および比例縮尺損益計算書）を描画します。描画の際には、財務諸表の組み替えや表示内容に自由度を残しており、分析者が自身の視点から財務諸表を組み替え、表示内容を選別して集計することが可能となっています。また本プログラムはオープンソースであり改変を許諾しているため、利用者自身によってさらに自由に比例縮尺財務諸表を作成することも可能としております。なお、本プログラムは日本会計基準もしくは国際財務報告基準（IFRS）に従う財務諸表を解析対象としています。

【本プログラムを利用した事例紹介】

次の図は金融庁の EDINET から取得した株式会社オリエンタルランドの 2022 年 3 月期連結財務諸表の XBRL ファイルを本プログラムによって解析し、描画した比例縮尺財務諸表を示しています。



【プログラムの入手方法】

下記 URL から入手できます。

https://takasu-labo.net/download_fsa.html

【今後の展開】

次のプログラムの公開を予定しています。

- ・ 役員情報データベース構築プログラム

【関連情報】

高須悠介, 「財務諸表のビジュアライゼーション」『企業会計』, 第 74 巻第 11 号, 103-109 頁, 2022 年。

また, 本プログラムは日本学術振興会科学研究費若手研究「データサイエンス手法を用いた会計データベース構築とその活用」(研究代表者: 高須悠介, 課題番号: 21K13398) の研究成果の一部です。

本件の研究に関するお問い合わせ先

横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 准教授 高須悠介

E-mail: takasu-yusuke-wk@ynu.ac.jp